

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	中小企業資金融資利子補給金							
予算科目	一般会計		款	6	項	1	目	2
予算事業名	中小企業支援事業							
実施計画の位置づけ	中小企業の経営安定を図ります							
補助金分類								
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・ <u>国県補助なし</u>						千円	
交付先	融資該当各中小企業者							
支出根拠規定	佐倉市中小企業資金融資条例、佐倉市中小企業資金融資条例施行規則							
補助の目的	千葉県信用保証協会の信用保証に基づき、金融機関を通じて中小企業者に融資する事業資金の融資を円滑にし、市内中小企業の振興を図ること。							
補助の効果	低利融資の実施と利子補給を行うことにより、市内中小企業の経営の安定と育成振興が図られる。							
補助対象事業の 具体的内容	中小企業資金融資の利子の一部を補給する。							
対象経費及び補助率	利子の年利3.0%又は融資利率の2分の1のいずれか低い方							
補助金額の根拠	佐倉市中小企業資金融資条例、佐倉市中小企業資金融資条例施行規則による							
備考 1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他								
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日							

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課		
補助金等の名称		中小企業資金融資利子補給金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	13,500	融資実行件数254件	12,255	融資実行件数207件	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	景気停滞により減少傾向にあった新規融資件数であったが、平成24年度から30件台に回復し、平成26年度は50件超え、平成27年度は32件に落ち着いた。 平成28年度に融資利率の引き下げ等を行った。制度改正の周知を行うことにより、必要かつ有効な融資を着実に実施することをめざし、市内中小企業者の経営安定を図る。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	13,500	融資実行件数254件	11,026	融資実行件数191件	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	千葉県信用保証協会によると、マイナス金利の影響で県内の市制度融資の新規融資件数は前年度の8割程度となり、当市の新規融資件数も27件で前年度の8割程度だった。 平成29年度も融資利率の引き下げを行い、制度改正の周知を行うことにより、必要かつ有効な融資を着実に実施することをめざし、市内中小企業者の経営安定を図る。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	13,500	融資実行件数254件	8,542	融資実行件数188件	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成29年度の県内経済動向は安定的に推移し、緩やかな回復を続けており、当市の新規融資件数も27件と前年と同じ件数で着地した。 平成30年度に融資利率の引き下げ等を行った。制度改正の周知を行うことにより、必要かつ有効な融資を着実に実施することをめざし、市内中小企業者の経営安定を図る。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	13,500	融資実行件数254件	6,905	融資実行件数159件	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	平成30年度の新規融資件数は、市内中小企業者の資金需要が弱く、前年度の半分程度まで落ち込んだ。 平成31年度の融資利率は前年度と同利率に据え置きになった。今後、市HPや広報誌、での周知活動を努めることで、多くの市内中小企業者に本制度融資を認知・利用して頂くことで、市内商工業の安定・発展を図る。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値	
	13,500	融資実行件数254件	5,274	融資実行件数128件	
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	令和元年度の新規融資件数は、前年度と同件数であり、引き続き市内中小企業者の資金需要が弱い状況であった。				
計画期間終了後の最終的な目標値		融資実行済み件数を5年間で延べ1270件利子補給し、市内中小企業の振興を図る。			
計画期間終了後の最終的な成果値		平成27年度から令和元年の5年間で873件に利子補給を行った。			